

学校の防犯力向上 2

市民防犯インストラクター武田信彦

ひとり一人の対応力とチームワークで防犯力アップ！

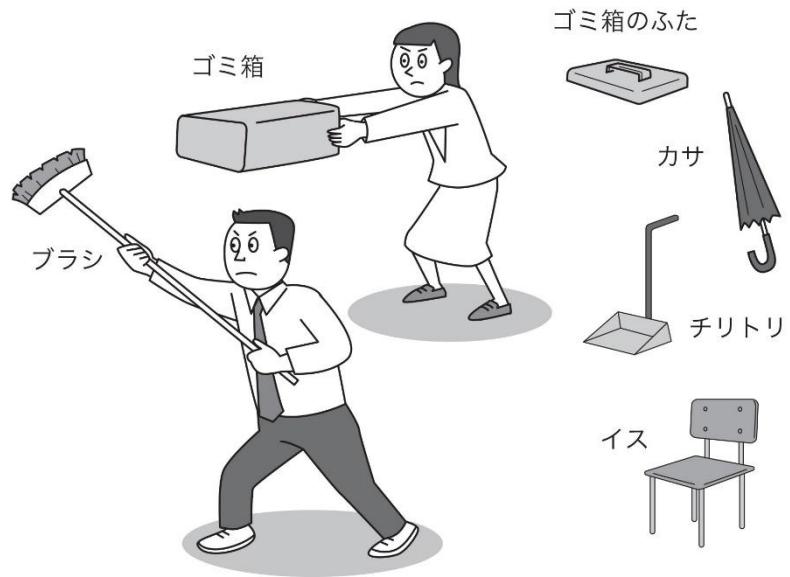
迷わず、すぐに！連絡と通報を

学校内で緊急事態が発生した場合は、発見・遭遇した人がただちに連絡・通報できることが一番です。通報から警察官が到着するまでには時間がかかります。誰もがどこからでも通報できる体制づくりが欠かせません。また、危険な事案にはチームワークでの対応が必要なため、トランシーバー等を駆使して校内での情報共有の体制を構築しましょう。



防護と抵抗で、身を守る！

万が一、刃物等の凶器が用いられる事案が発生した場合は、素手で対応せず、必ず物を手にして対応します。[防護]＝盾となる軽くて丈夫な物で攻撃から身を守ります。[抵抗]＝盾のような物が無い場合は、丈夫で長い物などを用いて、距離を確保する、致命傷を負わない行動をとります。日常的に使用する備品の範囲で活用できる物が多くあります。すぐに手が届くところに準備しておきましょう。



ひとり一人の対応力とチームワークで！

学校で作成している危機管理マニュアルをすべての教職員が把握しておくことが基本です。来校者対応、緊急時の連絡・通報、児童や自身を守る防護・抵抗、児童の避難 or ロックダウン…。

緊急時には細かく確認できず、一人ひとりが自信を持って行動しなければいけません。また、個人の判断・行動を責めない、安全のための意見やアイディアが出しやすい雰囲気づくりも欠かせません。

